



岐阜県ボクシング連盟 Gifu Boxing Federation

BOXING NEWS
令和4年4月30日

田中亮明選手 東京オリンピック報告

4月29日（金）小雨が降る中、令和4年度岐阜県ボクシング連盟役員総会が岐阜市の十八楼 孔雀の間で行われました。はじめに四橋英児連盟会長から挨拶があり、昨夏の東京オリンピックボクシング競技 フライ級で見事銅メダルを獲得した田中亮明選手に向けてお祝いの言葉が贈られました。そしてその後、田中選手からもお礼の挨拶をしていただきました。

—以下は田中選手のコメントです—

「コロナ禍による1年の延期、そして無観客という異例の大会となった東京オリンピックでしたが、小さな頃から憧れていた夢の舞台上、銅メダルを獲得できたことを嬉しく思っています。私はオリンピック代表選考会後にボクシングスタイルを見つめなおし、それまでの距離をとって戦うスタイルから積極的に前へ出て打ち勝つスタイルに変えました。そしてその前へ出るスタイルを東京オリンピックでも貫いたことが銅メダル獲得につながったと思っています。ここまで頑張ってきたのも、四橋会長をはじめとする岐阜県ボクシング連盟役員の皆様の励ましや支え、そして応援をしてくださった全ての方たちの後押しがあったからだと思います。全ての方に対する感謝の気持ちを忘れず、これからも岐阜県のアマチュアボクシングの発展に貢献したいと思っています。」

最後に四橋会長から「プロに行くチャンスがあれば行きたいか？私たちはいつまでも田中選手の活躍を期待し、応援していくつもりだが。」と問いかけると、田中選手は「いいえ、残念ですがプロに行く気はないです。」ときっぱり。すると四橋会長が「最初はみんなそう言うんだよね。」と会場内の笑いを誘いました。



東京オリンピックを振り返り、挨拶をする田中亮明選手（右）



総会終了後には、田中亮明選手から役員の方々に獲得した銅メダルを披露していただきました。想像以上に重いメダルでした。

田中亮明選手、銅メダル獲得おめでとうございます。